



## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月1日

上場会社名 株式会社鶴見製作所 上場取引所 東証一部・大証一部  
 コード番号 6351 URL <http://www.tsurumipump.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)辻本 治  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)廣田 正章 TEL (06)6911-2351

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	23,304	1.1	2,143	8.3	2,507	△2.7	1,521	2.5
19年3月期第3四半期	23,041	4.7	1,978	6.0	2,578	△4.7	1,484	3.2
19年3月期	34,140		2,981		3,693		2,140	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	56	74	—	
19年3月期第3四半期	55	28	—	
19年3月期	79	74	—	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	48,574		35,046		72.1	1,306	22	
19年3月期第3四半期	46,215		33,975		73.5	1,266	08	
19年3月期	50,748		34,793		68.5	1,296	65	

### 2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)【参考】

業績予想につきましては平成19年5月18日に発表しました数値に変更はありません。

### 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：有

(注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. その他をご覧ください。

### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期のわが国経済は、原油を始めとする原材料価格の高騰や改正建築基準法に伴う建築着工の減少等の影響により、企業収益の改善は若干足踏み状態にありましたが、設備投資については弱い動きが見られたものの、増加基調で推移しました。

海外におきましても、米国のサブプライムローン問題等の影響による景気減速感があったものの、中国などの新興国や資源国が牽引する形で景気の拡大が続いたため、全体としては緩やかながらも景気は回復基調で推移しました。

しかしながら当社グループ関連業界に大きな影響を及ぼす公共投資については、引き続き低調に推移しました。

このような状況の中で当社グループは、当期のキーワード「選択と集中」のもと、着実な事業展開を進めました結果、当第3四半期における当社グループの連結売上高は23,304百万円、連結経常利益は2,507百万円となり、連結第3四半期純利益は1,521百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は48,574百万円と前連結会計年度末に比べ2,174百万円減少しました。

これは、主に投資その他の資産の減少によるものであります。

純資産につきましては、当第3四半期末現在35,046百万円と前連結会計年度末に比べ252百万円増加しました。

これは、主に利益剰余金の増加によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は72.1%と前連結会計年度末に比べ3.6%改善いたしました。

### 3. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の会計基準は法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

また、影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な方法を採用しております。

#### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当社及び国内連結子会社は、当連結会計年度より、法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に規定する償却方法により、減価償却費を計上しております。

なお、この変更に伴う業績に与える影響は軽微であります。

4. (要約)四半期連結財務諸表  
 (1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	1,946	2,452	505		2,557
受取手形及び売掛金	10,832	11,770	937		13,858
有価証券	590	1,379	788		495
たな卸資産	5,865	7,325	1,460		5,913
その他	871	1,119	248		1,216
流動資産合計	20,107	24,047	3,940	19.6	24,041
II 固定資産					
有形固定資産	10,279	10,488	209	2.0	10,560
無形固定資産	154	447	292	189.1	208
投資その他の資産	15,673	13,591	△2,082	△13.3	15,937
固定資産合計	26,107	24,526	△1,581	△6.1	26,707
資産合計	46,215	48,574	2,359	5.1	50,748
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	4,027	4,101	73		5,892
一年以内償還予定社債	—	3,000	3,000		—
その他	2,485	3,976	1,491		4,239
流動負債合計	6,512	11,077	4,565	70.1	10,131
II 固定負債					
社債	5,000	2,000	△3,000		5,000
その他	726	449	△277		823
固定負債合計	5,726	2,449	△3,277	△57.2	5,823
負債合計	12,239	13,527	1,287	10.5	15,954
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	5,188	5,188	—		5,188
資本剰余金	8,016	8,016	△0		8,016
利益剰余金	21,251	22,892	1,641		21,906
自己株式	△1,325	△1,332	△6		△1,327
株主資本合計	33,130	34,764	1,634	4.9	33,784
II 評価・換算差額等					
その他有価証券 評価差額金	823	303	△519		998
為替換算調整勘定	△3	△48	△45		△14
評価・換算差額等合計	820	254	△565	△68.9	983
III 少数株主持分	24	27	2	8.9	25
純資産合計	33,975	35,046	1,071	3.2	34,793
負債、純資産合計	46,215	48,574	2,359	5.1	50,748

## (2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	23,041	23,304	263	1.1	34,140
II 売上原価	15,712	15,865	152	1.0	23,693
売上総利益	7,328	7,439	110	1.5	10,447
III 販売費及び一般管理費	5,349	5,295	△54	△1.0	7,466
営業利益	1,978	2,143	165	8.3	2,981
IV 営業外収益	695	691	△3	△0.6	859
V 営業外費用	95	327	231	242.0	147
経常利益	2,578	2,507	△70	△2.7	3,693
VI 特別利益	—	—	—	—	80
VII 特別損失	127	66	△60	△47.6	194
税金等調整前四半期 (当期)純利益	2,450	2,441	△9	△0.4	3,579
法人税等	964	917	△46	△4.9	1,437
少数株主利益	1	1	0	21.5	1
四半期(当期)純利益	1,484	1,521	36	2.5	2,140